

D.3 制御コード

1. ヌル (Null) : Nul (X'00')

何もしないで無視します。

2. ベル (Bell) : Bel (X'07')

この制御コードを受け取るとブザーが鳴ります。

注) 初期設定により, "ブザー停止"を選択すると, このコードを受け取っても無視されます。

3. 後退 (Back Space) : BS (X'08')

印字位置がその時点の半角文字幅だけ左に戻ります。文字拡大モードではその時点の全角文字幅, 縮小モードではその時点の半角文字幅の半分だけ左に戻ります。印字位置が左端にある場合は無視されます。印字データに続く場合は印字を開始します。

ただし, 横幅縮小文字設定が行われているときの半角文字幅は18 cpiになり, この制御コードによる戻り量も18 cpiに応じます。

4. 水平タブ (Horizontal Tab) : HT (X'09')

印刷位置が次のタブ位置まで右へ移動します。電源投入直後の初期値は8桁ごとに設定されています。タブ位置がクリアされていれば, この制御コードは無視されます。

5. 改行 (Line Feed) : LF (X'0A')

印字バッファにあるデータをすべて印字し, 用紙を1行送ります。
LF以前にデータが無い場合は, 行送りだけが行われます。

6. 垂直タブ (Vertical Tab) : VT (X'0B')

印字バッファのデータをすべて印字し, 垂直タブ位置まで用紙を送ります。垂直タブ位置が設定されていない場合は, LFと同じ動作をします。

7. 書式送り (Form Feed) : FF (X'0C')

印字バッファにあるデータをすべて印字し、続いて次の動作を行います。

- 単票モードの場合、用紙を排出します。自動給紙機構がセットされている場合は次の用紙を吸入します。
- 連続紙モードの場合、連続用紙を次ページの TOF まで送ります。

印刷位置が TOF にある場合、いずれの用紙モードにおいてもこの制御コードは無視されます。

8. 復帰 (Carriage Return) : CR (X'0D')

CR が入力されると、印字バッファにあるデータがすべて印字され、印字位置がその第1桁 (左マージン) に帰ります。

CR が実行されるときに印字位置が第1桁 (左マージン) の位置にある場合、この制御コードは無視されます。

9. 装置制御1 (Device Control 1) : DC1 (X'11')

プリンターを印刷可状態にします。

印刷可状態で受信したときは無視します。

10. 装置制御3 (Device Control 3) : DC3 (X'13')

印字バッファにあるデータをすべて印字した後、プリンターを印刷中断状態にします。

印刷中断状態で受信したときは無視します。

11. 取り消し (Cancel) : CAN (X'18')

印字バッファにあるデータをすべて消去し、印字ヘッドをホーム位置に移動し、印刷可能状態にします。

この制御コードは、印刷中断状態においても有効です。印字途中で CAN コードを受け取ると、印字中の行の終わりまで印字して、印字バッファにあるデータをすべて消去します。

次のものは CAN コードによって消去されません。

- LF による行送り量
- ページの長さ
- TOF から数えた現在行の位置
- 片方向印字モードの設定
- 最短距離両方向印字モードの設定
- イメージ・データの n_1 , n_2 の値
- 高速印字設定
- 用紙モード
- 文字ピッチ
- フォント・スタイル
- 上下、左右マージン
- 上つき/下つき文字指定
- 強調印字
- 二重印字
- 下線指定
- 重ね打ちモード
- 水平、垂直タブ位置
- 縦書きモード
- 文字スケール
- 横幅縮小文字モード
- ミシン目スキップ

12. 間隔 (Space) : SP (X'20')

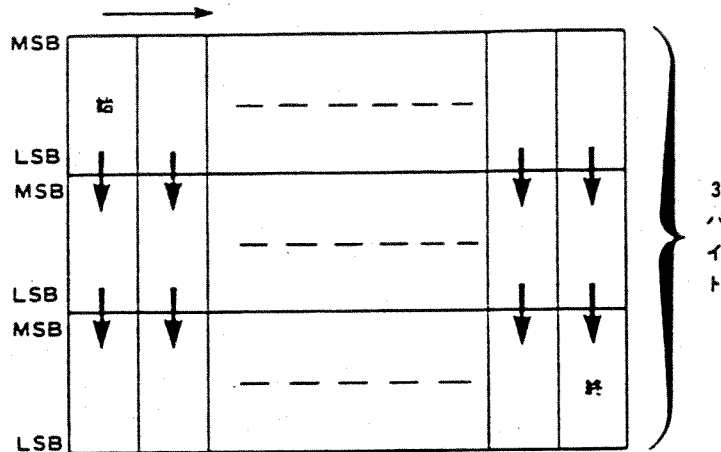
その時点での半角文字幅だけ飛び越します。(印字位置が右に移動します。)

文字拡大モードでは、その時点での全角文字幅、縮小モードでは半角文字幅の半分だけ飛び越します。

ただし、横幅縮小文字設定が行われているときの半角文字ピッチは 18 cpi になり、この制御コードによる飛び越しも 18 cpi に応じて行われます。

13. イメージ・データ設定：ESC %1 n₁, n₂ (X'1B 25 31 n₁ n₂)

イメージ・データの水平方向の印字ドット数を設定します。n₁, n₂は、水平方向の印字ドット列数を表し、X'n₁n₂'の範囲は X'0001'から X'0948'です。
 印字領域拡張モードでは X'n₁n₂'の範囲は X'0001'から X'0990'です。
 制御コードに続きイメージ・データを転送します。そのデータ・バイトの順序は次のとおりです。(MSB: 最上位ビット, LSB: 最下位ビット)



14. イメージ・データ拡大設定：ESC %2 n₁, n₂ (X'1B 25 32 n₁ n₂)

イメージ・データの倍幅印字（水平方向に2倍）を指定します。n₁, n₂は、拡大する前のイメージ・データの水平ドット列数を表し、X'n₁n₂'の範囲は X'0001'から X'04A4'です。
 この制御コードに続き転送されるデータ・バイト形式は ESC %1 n₁, n₂の場合と同じです。
 印字領域拡大モードでは X'n₁n₂'の範囲は X'0001'から X'04C8'です。

15. 可変飛び越し：ESC %3 n₁, n₂ (X'1B 25 33 n₁ n₂)

n₁, n₂で指定されたドット数だけ、水平方向に飛び越します。(印字位置が右へ移動します。)
 X'n₁n₂'の範囲は、X'0001'から X'0948'です。
 印字領域拡大モードでは X'n₁n₂'の範囲は、X'0001'から X'0990'です。

16. 可変逆飛び越し：ESC %4 n₁, n₂ (X'1B 25 34 n₁ n₂)

n₁, n₂で指定されたドット数だけ、水平方向に逆飛び越しをします。(印字位置が左へ戻ります。) 印字データに続く場合は、印字を開始します。

X'n₁n₂'の範囲は X'0001'から X'0948'です。

逆飛び越し量が左マージンを超えている場合は、印字位置は左端まで戻ります。印字領域拡大モードでは X'n₁n₂'の範囲は X'0001'から X'0990'です。

17. 可変行送り：ESC %5 n₁, n₂ (X'1B 25 35 n₁ n₂)

n₁, n₂で指定された量だけ、行送りします。印字データに続く場合は、印字を開始します。

X'n₁n₂'の範囲は、X'0001'から X'00FF'までです。

行送りされる量は、0.21 mm (1/120インチ) の X'n₁n₂'倍です。単票の場合、ボトム・マージンを超すときは、用紙を排出し、残りの行送り量は捨てられます。

18. 復帰点設定：ESC %6 n₁, n₂ (X'1B 25 36 n₁ n₂)

第一印字位置左端を基準として X'n₁n₂'ドットの位置に印字位置を移動します。印字データに続く場合は印字を開始します。

X'n₁n₂'の範囲は、X'0001'から X'0948'です。

この次に印字される場合のみ、この制御コードによって指定された位置から印字が始まります。

印字領域拡大モードでは、X'n₁n₂'の範囲は、X'0001'から X'0990'です。

19. 可変行戻り：ESC %8 n₁, n₂ (X'1B 25 38 n₁ n₂)

0.21 mm (1/120インチ) を単位として用紙を逆送りします。印字データに続く場合は印字を開始します。

X'n₁n₂'の範囲は X'0001'から X'0028'です。

したがって、逆送り量の範囲は、0.21 mm (1/120インチ) から8.47 mm (1/3インチ) です。

用紙逆送りは1ページ中で合計8.47 mm (1/3インチ) を超えてはなりません。

印字位置が先頭位置 (TOF) に達すると止まります。

この制御コードは自動給紙機構を使用している場合、用紙づまりの原因になることがありますので、できる限り使用しないでください。

20. 行送り量設定 : ESC %9 n₁, n₂ (X'1B 25 39 n₁ n₂)

0.21 mm (1/120インチ) を単位として、n₁, n₂で行送りを設定します。

X'n₁n₂'の範囲は、X'0001'から X'003C'です。

したがって、行送り量の設定範囲は、0.21 mm (1/120インチ) から12.7 mm (60/120インチ) です。

改行スイッチによる行送り量も変更されます。

印字行の先頭にこのコマンドを受信した場合には、その行から行送り量が変更されます。

印字行の途中にこのコマンドを受信した場合は、次の行から行送り量が変更されます。

21. 両方向印字モード設定 : ESC %B (X'1B 25 42')

両方向印字モードを設定します。モードの切り替えは行単位で行われます。

この制御コードが印字データに含まれていると、その行およびそれ以降の行は最短距離で両方向印字されます。

22. 片方向印字モード設定 : ESC %U (X'1B 25 55')

片方向印字モードを設定します。印字方向は左から右方向のみです。この設定は行単位で行われ、行の途中にこの制御コードが含まれていると、その行およびそれ以降の行は片方向印字で印字されます。

このコードは初期設定値の指定により無視することができます。

23. 初期化設定 : ESX 01 00 00 (X'1B 7E 01 00 00')

改ページ後、プリンターを初期設定値にリセットします。印刷業務の終了時に使用します。

このコマンドは DOS K2.61以上でお使いください。

24. 文字ピッチの設定：ESX 02 00 01 n (X'1B 7E 02 00 01 n')

全角文字ピッチを $n \times 1/10$ cpi (文字/インチ) に設定します。n の値は下表のいずれかを指定してください。下表の値以外は無視されます。半角文字ピッチは全角文字ピッチの倍に設定されます。

n	全角文字ピッチ (cpi)
X'32'	5
X'3C'	6
X'43'	6.7
X'4B'	7.5

25. 改行ピッチの設定：ESX 03 00 01 n (X'1B 7E 03 00 01 n')

改行ピッチを $n \times 1/10$ lpi (行/インチ) に設定します。n の値は下表のいずれかを指定してください。下表の値以外は無視されます。

n	改行ピッチ (lpi)
X'14'	2
X'1E'	3
X'28'	4
X'32'	5
X'3C'	6
X'4B'	7.5
X'50'	8

26. ページ長さ設定：ESX 04 n₁ n₂ c₁ c₂ (c₃) (X'1B 7E 04 n₁ n₂ c₁ c₂ (c₃))

連続用紙の1ページの長さを設定します。(単票用紙の長さの設定はできません。)
 c₁を X'00'としたとき c₂ c₃は1ページの長さを1/6インチ単位で設定します。このとき n₁=X'00', n₂=X'03'で、c₂ c₃の範囲は X'0001'から X'01FF'までです。
 c₁を X'01'としたとき c₂は1ページの長さを行単位で設定します。このとき n₁=X'00', n₂=X'02'で c₂の範囲は X'01'から X'FF'です。このとき c₃は不要です。
 c₁を X'02'としたとき c₂は1ページの長さをインチ単位で設定します。このとき n₁=X'00', n₂=X'02'で c₂の範囲は X'01'から X'FF'です。このとき c₃は不要です。
 連続用紙の場合、この制御コードを受け取ったときに受信中の行の左端を TOF として設定します。

27. フォント・スタイル指定 : ESX 06 00 01 n (X'1B 7E 06 00 01 n')

半角文字のフォント・スタイルを変更するために使用します。n の値は下表のいずれかを指定してください。下表以外の値は無視されます。

n	フォント・スタイル	印刷例
X'00'	省略時解釈 (明朝体 12 cpi)	ABCDEF0123456789#\$\$%&
X'01'	DP ゴシック (10 cpi)	ABCDEF0123456789#\$\$%&
X'06'	エリート (12 cpi)	ABCDEF0123456789#\$\$%&
X'07'	クーリエ (10 cpi)	ABCDEF0123456789#\$\$%&
X'08'	明朝体 (12 cpi)	ABCDEF0123456789#\$\$%&
X'09'	明朝体 (10 cpi)	ABCDEF0123456789#\$\$%&

28. 全文字印字指定 : ESX 08 n₁ n₂ c₁ c₂... c_n (X'1B 7E 08 n₁ n₂ c₁ c₂... c_n)

n₁, n₂で指定されたバイト数分以降のデータを文字セットで指定された文字コードとして受信します。

本モードの場合は、通常は制御コードとして用いられているコード (X'1B', X'1C') も文字コードとして扱います。

c_i (i=1, ..., n) は、半角のとき1バイト、全角のとき2バイトで指定してください。未定義コードは半角あるいは全角スペースとして出力されます。(ただし、Nul (X'00') は無視されます。)

29. 高速モード設定 : ESX 0E 00 01 01 (X'1B 7E 0E 00 01 01')

高速モードを設定します。

プリンターが高速モードにあるときは、この制御コードは無視されます。

30. 高速モード解除 : ESX 0E 00 01 02 (X'1B 7E 0E 00 01 02')

高速モードを解除します。

プリンターが通常速モードにあるときは、この制御コードは無視されます。

プリンターが高速印刷スイッチによって高速モードが選択されている場合は、この制御コードは無視されます。

31. 単票吸入：ESX 0E 00 01 05 (X'1B 7E 0E 00 01 05')

単票モードにおいて有効です。連続紙モードの場合、この制御コードは無視されます。その他は制御コード FF と全く同じ機能です。「7. 書式送り」の項を参照してください。印字バッファーにあるデータをすべて印刷し用紙を排出します。自動給紙機構がセットされている場合は次の用紙を吸入します。

32. 単票排出：ESX 0E 00 01 06 (X'1B 7E 0E 00 01 06')

プリンターに蓄えられているデータがすべて印刷され、続いて次の動作が行われます。

- 単票モードの場合、用紙を排出します。
- 連続紙モードの場合、連続用紙を次ページの先頭行位置 (TOF) まで送ります。

印字位置が TOF にある場合、いずれの用紙モードでも無視されます。

33. 横幅縮小文字設定：ESX 0E 00 01 07 (X'1B 7E 0E 00 01 07')

この制御コード以降の半角文字は横に縮小されて印刷されます。文字ピッチは現在設定されている半角文字の文字ピッチにかかわらず18 cpi になります。

34. 横幅縮小文字解除：ESX 0E 00 01 08 (X'1B 7E 0E 00 01 08')

制御コード ESX 0E 00 01 07 による横幅縮小文字設定を解除します。この制御コードにより半角文字の文字ピッチは元の文字ピッチに戻ります。

35. 文字拡大設定：ESX 0E 00 01 09 (X'1B 7E 0E 00 01 09')

この制御コード以降に印字される文字は、横幅が2倍になります。

36. 文字拡大解除：ESX 0E 00 01 0A (X'1B 7E 0E 00 01 0A')

設定された文字拡大コードを解除します。

37. 縦書きモード設定：ESX 0E 00 01 0B (X'1B 7E 0E 00 01 0B')

この制御コードを受け取った直後からすべての文字を縦書きにします。

38. 縦書きモード解除：ESX 0E 00 01 0C (X'1B 7E 0E 00 01 0C')

この制御コードを受け取った直後からすべての文字を横書きに戻します。

39. 上つき文字指定：ESX 0E 00 01 0D (X'1B 7E 0E 00 01 0D')

この制御コードを受け取った直後からの半角文字は、上つき/下つき文字指定解除を受け取るか、下つき文字指定を受け取るまで上つき文字で印刷されます。

40. 下つき文字指定：ESX 0E 00 01 0E (X'1B 7E 0E 00 01 0E')

この制御コードを受け取った直後からの半角文字は、上つき/下つき文字指定解除を受け取るか、上つき文字指定を受け取るまで下つき文字で印刷されます。

41. 上つき/下つき文字指定解除：ESX 0E 00 01 0F (X'1B 7E 0E 00 01 0F')

この制御コードを受け取った直後から、上つき/下つき文字指定は解除されます。

42. 半行逆送り：ESX 0E 00 01 13 (X'1B 7E 0E 00 01 13')

印字バッファのデータをすべて印刷し、半行分用紙を逆送りして、以降のデータを印字します。

印字位置が先頭位置 (TOF) に達すると無視されます。この制御コードは自動給紙機構を使用している場合は、用紙づまりの原因になることがありますので、できる限り使用しないでください。用紙の逆送りは1ページの中で合計8.47mm (1/3インチ) を超えてはなりません。

43. 半行送り：ESX 0E 00 01 14 (X'1B 7E 0E 00 01 14')

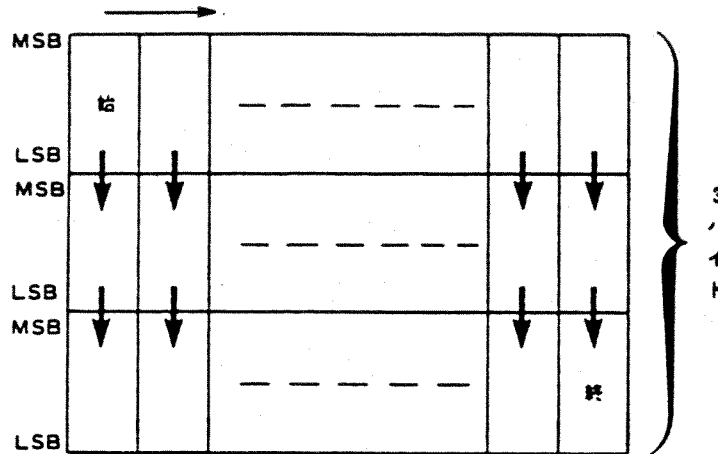
印字バッファのデータをすべて印字し、半行分用紙を送って、以降のデータを印刷します。

印字位置がボトム・マージンに達すると改ページが行われます。

44. 3バイト転送モード設定：ESX 0E 00 01 15 (X'1B 7E 0E 00 01 15')

3バイト転送モードを設定します。

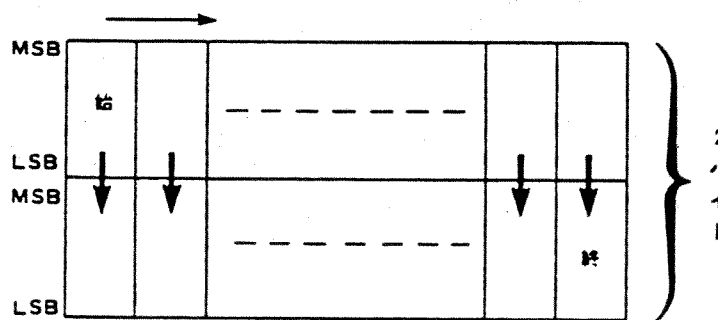
電源スイッチを入れたときに省略時のモードとして、このモードが設定されます。転送されるデータ・バイトは次のとおりです。(MSB: 最上位ビット, LSB: 最下位ビット)



45. 2バイト転送モード設定：ESX 0E 00 01 16 (X'1B 7E 0E 00 01 16')

2バイト転送モードを設定します。電源スイッチを入れたときに省略時のモードとして3バイト転送モードが設定されます。

転送されるデータ・バイトは次のとおりです。(MSB: 最上位ビット, LSB: 最下位ビット)



46. 強調印字設定：ESX 0E 00 01 17 (X'1B 7E 0E 00 01 17')

この制御コードを受け取った直後から、すべての文字を強調して(横方向に1ドット分ずらして重ねる)印字します。

47. 強調印字解除：ESX 0E 00 01 18 (X'1B 7E 0E 00 01 18')

この制御コードにより強調印字モードが解除されます。

48. 二重印字設定：ESX 0E 00 01 19 (X'1B 7E 0E 00 01 19')

この制御コードを受け取ると印字バッファにあるデータをすべて印字し、その後すべての文字とイメージを二重に印字します。

49. 二重印字解除：ESX 0E 00 01 1A (X'1B 7E 0E 00 01 1A')

この制御コードを受け取ると、印字バッファにあるデータをすべて印字し、二重印字モードが解除されます。

50. 用紙モード切り替え：ESX 10 00 01 n (X'1B 7E 10 00 01 n')

この制御コードは連続紙モードと単票モードを切り替えます。

印字データに続く場合は、印字を終了した後に用紙モードを切り替えます。nをX'01'とすると連続紙モード、nをX'02'とすると単票モードになります。

連続紙モードから単票モードに切り替える際は、出力し終えた連続用紙のページを切り取っておいてください。

すでに指定の用紙モードである場合は無視されます。

51. 下線設定・解除：ESX 11 00 01 n (X'1B 7E 11 00 01 n')

この制御コードにより、下線の設定、解除を行います。

設定、解除はnにより次のように指定することができます。

n=B'0000 00n₁n₀'

n₀ 1: 下線開始
 0: 下線終了

n₁ 1: ブランクをスキップする。
 0: ブランクをスキップしない。

この制御コードにより印刷できる下線の本数は1行当たり最大256本です。

52. 重ね打ちモード設定・解除：

ESX 13 n₁ n₂ c₁ c₂ c₃ (c₄) (X'1B 7E 13 n₁ n₂ c₁ c₂ c₃ (c₄) ')

重ね打ちをしたい半角文字または全角文字を指定します。この制御コードにより指定された半角文字または全角文字が、これ以後の文字に重ね打ちされます。解除が指定される (c₁ のビット 0 を 0) か新たに重ね打ち設定が行われた場合は、以前に指定された文字の重ね打ちは終了します。

n₁ n₂ c₁ c₂ c₃ (c₄) の指定の方法は以下のとおりです。

半角文字の場合

n₁=X'00', n₂=X'03'

c₁: 重ね打ちフラグ

ビット 0

1: 重ね打ちモード設定

0: 重ね打ちモード解除

ビット 1

1: スペース文字には重ねて打たない

0: スペース文字にも重ねて打つ

ビット 2～7

定義されていません、これらのビットは無視されます。

c₂: 未定義のバイトです、c₂ は無視されます。

c₃: DOS の内部 1 バイト・コードを指定します。

注) c₄ は指定しないでください。

全角文字の場合

n₁=X'00', n₂=X'04'

c₁: 半角文字の場合と同様

c₂: 半角文字の場合と同様

c₃: DOS 内部 2 バイト・コードの上位 1 バイトを指定します。

c₄: DOS 内部 2 バイト・コードの下位 1 バイトを指定します。

注) 重ね打ちモード解除の制御コードは以下のようになります。

X'1B 7E 13 00 01 00'

重ね打ち文字はフォント・スタイル指定、横幅縮小文字指定、または上つき/下つき文字指定が行われると、その指定に従い変更されます。

53. 罫線印刷：ESX 16 n₁ n₂ c₀ c₁... c_n (X'1B 7E 16 n₁ n₂ c₀ c₁... c_n)

1行分の縦横の罫線を指定します。

その行の印字データを送る前にこの制御コードを送ってください。

パラメーターの指定は次のとおりです。

n₁, n₂ : c₀~ c_n のバイト数
c₀ : 1を指定してください。
c₁... c_n : 罫線情報を半角単位で次のように指定します。

ビット	7	6	5	4	3	2	1	0
	<--- 横罫線 --->				<--- 縦罫線 --->			

罫線の種類

ビット (7 6 5 4)

ビット (3 2 1 0)

0 0 0 0 : 罫線なし

0 0 0 1 : 実線

0 0 1 0 : 太い実線

0 0 1 1 : 点線

右マージンを超えて送られた罫線は無視されます。罫線は文字ではありませんので文字装飾に影響されませんが、二重印字が設定されているときは二重に印字されます。二重印字は行の途中ですぐに設定/解除されるので、注意が必要です。

54. 水平タブ設定：ESX 18 n₁ n₂ ht₁ ht₂... ht_n (X'1B 7E 18 n₁ n₂ ht₁ ht₂... ht_n)

水平タブ位置を設定します。n₁n₂で水平タブの個数を示し、ht₁, ht₂... ht_n (各1バイト)でタブ位置を半角文字単位の桁数で指定します。タブ位置は昇順に指定し、昇順がくずれた場合はくずれる前までのタブ位置が設定されます。

タブ位置は現在の文字ピッチで設定されます。

設定できる最大のタブは28個までです。28個を超えて設定した場合は、水平タブ設定は無視されます。

n₁n₂=X'0001', ht₁=X'00'の場合は、初期設定値のタブ位置(9桁目から8桁ごと)にセットされます。また、n₁n₂=0の場合水平タブはクリアされます。

55. 垂直タブ設定 : ESX 19 n₁ n₂ vt₁ vt₂... vt_n (X'1B 7E 19 n₁ n₂ vt₁ vt₂... vt_n)

垂直タブ位置を設定します。n₁n₂で垂直タブの個数を示し、vt₁, vt₂... vt_n (各1バイト)でタブ位置を行単位で指定します。タブ位置は昇順に指定し、昇順がくずれた場合は、くずれる前までのタブ位置が設定されます。

タブ位置は現在の行ピッチで設定されます。

設定できる最大のタブは64個までです。64個を超えて設定した場合は垂直タブ設定が無視されます。

n₁n₂=0のとき垂直タブはクリアされます。

単票を使用した場合、実際の単票の長さを超える位置に垂直タブを使用すると、フォーマットがくずれる場合があります。垂直タブ設定は実際に使用する単票の長さに収めてください。

56. 左右マージンの設定 : ESX 1A 00 02 lm rm (X'1B 7E 1A 00 02 lm rm')

lm, rm は1バイトではそれぞれ左マージン, 右マージンの位置を印刷可能領域の最左端からの半角文字単位の桁数で指定します。

右マージンと左マージンの間が12.7 mm (0.5インチ/90ドット列) よりも少ない指定が行われた場合, rm の指定が右端 (8インチ, 13.2インチまたは13.6インチ) を超えた場合, およびlm を0またはrm を0に指定した場合は無視されます。

57. ミシン目スキップの設定 : ESX 1B 00 01 n (X'1B 7E 1B 00 01 n')

この制御コードはページの最終行から次ページの先頭行 (TOF) まで n (1バイトの16進数) で指定された行数だけスキップして印字位置を動かす機能を設定します。

n=0の場合およびページ長設定コマンド, 初期化設定のコマンドを受信すると, ミシン目スキップは初期設定時の状態に戻ります。

ミシン目スキップを指定した行数とページ長の差が12.7 mm (0.5インチ) よりも少ない場合は無視されます。

初期設定機能においてミシン目スキップを指定すると25.4mm (1インチ) にスキップ量が設定されます。

注) この制御コードで指定されたスキップ数がミシン目位置から TOF までの長さより小さいとミシン目上に印刷されるので注意してください。

58. 水平方向位置移動 : ESX 1C 00 02 n m (X'1B 7E 1C 00 02 n m')

水平方向に現在の半角文字ピッチに応じて半角文字単位で位置を移動します。横幅縮小文字設定が行われているときは18 cpiで移動します。

n, mの値は各バイトで以下のように指定してください。

n=00 ; 左マージンからの絶対位置移動〔右マージンを超える量をセットすると無視する〕

n=01 ; 現在位置からの相対位置移動(右方向)〔右マージンを超える量をセットすると次の行に打つ〕

n=02 ; 現在位置からの相対位置移動(左方向)〔左マージンを超える量をセットすると左端で止まる〕

注) nに00,01,02以外の数値を設定するとこの制御コードは無視されます。

mは移動する文字数を設定してください。

注) この制御コードによる移動は文字の拡大/縮小の影響は受けません。

59. 垂直方向位置移動 : ESX 1D 00 02 n m (X'1B 7E 1D 00 02 n m')

印字バッファにあるデータをすべて印字し、垂直方向に現在の行ピッチに応じて行単位で位置を移動します。

n, mの値は各バイトで以下のように指定してください。

n=01 ; 現在位置からの相対位置移動(下方向)

注) nに01以外の数値を設定するとこの制御コードは無視されます。

mは移動する行数を設定してください。

60. 文字スケールの設定：ESX 20 00 03 n₁ n₂ 02 (X'1B 7E 20 00 03 n₁ n₂ 02)

以後の文字の大きさを、n₁、n₂の値に応じて変化させます。n₁、n₂の値は以下のように設定してください。

n ₁	n ₂	文字の大きさ (横 × 縦)
X'08'	X'08'	1/2 × 1/2
X'10'	X'10'	1 × 1
X'10'	X'20'	1 × 2
X'20'	X'10'	2 × 1
X'20'	X'20'	2 × 2

上記以外の値を指定した場合は、この制御コードは無視されます。

61. 固定長イメージ設定：FS (X'1C')

この制御コードは ESC%1 n₁、n₂または ESC%2 n₁、n₂の代わりに使いますが、イメージ・データを印刷する場合はできるだけ ESC%1または ESC%2を使用してください。この制御コードを使用する前に、すでに ESC%1または ESC%2で有効な n₁、n₂が指定されている必要があり、このときに参照される n₁、n₂の値は最も新しく指定された n₁、n₂の値です。この制御コードに続いて送られるデータ・バイト数はすでに指定されている n₁、n₂の値と矛盾しないようにしてください。

62. 3バイト転送モード設定：ESC ((X'1B 28')

ESX 0E 00 01 15 (X'1B 7E 0E 00 01 15') と同じです。できるだけ ESX 0E 00 01 15を使用してください。

63. 2バイト転送モード設定：ESC) (X'1B 29')

ESX 0E 00 01 16 (X'1B 7E 0E 00 01 16') と同じです。できるだけ ESX 0E 00 01 16を使用してください。

64. ページ長さ設定：ESC F n₁, n₂ (X'1B 46 n₁n₂)

ESX 04 00 03 00 n₁ n₂ (X'1B 04 00 03 00 n₁ n₂) と同じです。できるだけ
ESX 04 00 03 00 n₁ n₂を使用してください。

65. 高速モード設定：ESC O (X'1B 4F')

ESX 0E 00 01 01 (X'1B 7E 0E 00 01 01') と同じです。できるだけ ESX 0E
00 01 01を使用してください。

66. 高速モード解除：ESC P (X'1B 50')

ESX 0E 00 01 02 (X'1B 7E 0E 00 01 02') と同じです。できるだけ ESX 0E
00 01 02を使用してください。

67. 単票吸入：ESC S (X'1B 53')

ESX 0E 00 01 05 (X'1B 7E 0E 00 01 05') と同じです。できるだけ ESX 0E
00 01 05を使用してください。

68. 単票排出：ESC V (X'1B 56')

ESX 0E 00 01 06 (X'1B 7E 0E 00 01 06') と同じです。できるだけ ESX 0E
00 01 06を使用してください。

69. 文字拡大設定：ESC [(X'1B 5B')

ESX 0E 00 01 09 (X'1B 7E 0E 00 01 09') と同じです。できるだけ ESX 0E
00 01 09を使用してください。

70. 文字拡大解除：ESC] (X'1B 5D')

ESX 0E 00 01 0A (X'1B 7E 0E 00 01 0A') と同じです。できるだけ ESX 0E
00 01 0Aを使用してください。